

## 令和元年度これまでの市の主な取組の実績

### 1. 交通安全関係

- ① スクール児童館と連携した自転車交通安全教室を実施した。
- ② 室蘭市交通安全人と旗の波運動を開催し、車両パレードや市民会館での交通安全市民の集いに約4,100人が参加した。
- ③ 高齢者が交通事故の被害者や加害者になるケースが増加していることから、高齢者の事故防止対策の強化を図るため、室蘭警察署や室蘭市老人クラブ連合会と連携し、酒酔いゴーグルやクイックアーム等を活用した体験型交通安全教室や、衝突防止機能などの安全機能付き自動車同乗体験会を実施し、高齢者の交通安全意識高揚を図った。
- ④ 飲酒運転根絶総決起集会を開催し、“飲酒運転をしない！させない！許さない！”を合言葉に、飲酒運転根絶の啓発活動を実施した。

### 2. 防犯・暴力追放関係

- ① 地域の防犯意識を高め、犯罪の未然防止を図ることを目的に、10年以上にわたり、子どもを守るための活動（不審者パトロールや児童の登下校の交通指導等）を実践し、今後も継続した活動が見込まれる4名の活動者に対し、感謝状を贈呈した。
- ② 登下校時の子どもや未就学児が集団で移動する経路の交通安全の確保のため、危険箇所の有無の調査を行い、危険箇所のあった経路については、危険要因の改善を順次実施している。

### 3. 防災関係

- ① 消防団の再編について、団員数の減少に伴う消防団活動への影響を踏まえた対応として、消防第二分団及び第三分団の統合に伴う施設改修（入江合同庁舎への統合移転に伴う1階ロビー間仕切り壁の設置等）を行った。
- ② 消防施設等整備事業で、空気呼吸器面体、救急隊用AEDの整備を実施した。

## 4. 消費者関係

- ① 消費生活センターの存在や役割、消費者被害についての知識について、新聞紙面や広報紙、スポットCMなどを通して広く市民に周知し、注意喚起を行うことで、被害の未然防止を図った。
- ② 消費生活センター相談員が講師となり、高齢者や若者、高校生などを対象に、各世代に合わせた内容で出前講座を実施し、消費者被害の未然防止を図った。  
実績 令和元年11月末現在（予定分を含む）件数 19件、参加人数 774人
- ③ 若年層の消費者被害の未然防止を図るため、小中学生、若者や高校生向けのオリジナルパンフレットを作成し、配布した。
- ④ 高齢者の消費者被害未然防止を図るため、包括支援センターと情報交換会を実施するなど連携を強化し、情報共有を図った。

## 5. 福祉関係

- ① 令和2年4月1日供用開始予定の神代火葬場について、平成30年10月に本体工事に着工し、令和2年2月14日竣工予定。
- ⑤ 「室蘭市高齢者徘徊マニュアル」を策定し、行方不明となった高齢者の捜索が必要となった場合、スムーズな捜索と早期発見・保護のため、警察・事業所・地域住民・行政などの各関係機関の連絡体制を整備した。